

2025 年 5 月
No.479 号



ヒットサンク株式会社様に
工場見学へ行ってきました！



4 月 17 日ヒットサンク株式会社様へ工場見学に行ってきました。
レザーやテキスタイルを加工、縫製している現場を
直に見せていただいたことで、普段見慣れない異業種の現場、
さらには手加工ならではの職人級の技術を目の当たりにし
様々な知識を得ることができました。
ものづくりの面白さを実感したとともに、今までの自分には
新しい発想の商品を作りたいと感じました。
ヒットサンクの皆様、改めてお礼申し上げます。
ありがとうございました。

伊東 義弥

まず自分が動く

森 直樹（代表取締役社長）



今月はタイトルからしてわかりやすいですが物事を進める場合、自分の中で完結することは非常にシンプルです。先月の波紋でも書いたように AI を使ってでも、自分の手を動かしてでも納得のいく成果が出せればそれが正解です。ですが、仕事でなにかを進めるとなると自分と自分以外の人間が関係することが当然出てきます。社内の人間であったり、取引先・仕入先の方々と一緒に考え、試行錯誤していくこともあります。相手に求められる役割であったり、逆に自分の役割がなにか、それが合致していないと思わぬ方向へ話が進んでしまうこともありますし、関係者の中でのその物事へ対する思い、熱量に差があるとその行動にも差が生まれてしまうでしょう。それもこれも自分がまずその思いを行動で示す、関係者へ対してその思いを語り、その熱量が伝わらなければ周りは動きません。思いを語り、その思いを人に伝えていくことで周りがまた動かされていく。これこそが人間にしか出来ないことではないでしょうか。自分の期待通りに周りが動いてくれないことを嘆くのではなく、自分が周りを動かせるほどの熱量、言い換えると行動量が足りていないと考えることで、より前向きなアイデアも出てくると私は思います。私自身も同様に、周りの人を動かせるような行動が出来ているかどうか、常に問いつつ動いていきます。



黒縁眼鏡のおじいちゃん

村橋 敦士（総務・経理）



先日、三重県で開催されている「金曜ロードショーとジブリ展」に行ってきました。ジブリ映画の絵コンテや「風の谷のナウシカ」に登場する王蟲をはじめ、写真を撮れるスペース等も設けられており、多くの人が自由に写真を撮っていました。一方で、「金曜ロードショー」と銘打っているが、こちらはジブリに比べるとやや扱いが小さく、ジブリ映画が配信された年の金曜ロードショーの映画名が紹介されているだけでしたが、同時に、世間を騒がせたニュースをはじめとした人・モノも展示されていました。当然、最近の大谷選手の活躍はもちろん紹介されていましたが、阪神・淡路大震災やマイケル・ジャクソンの逝去等、ニュースの良し悪しに関わらず、簡潔に紹介されていました。「金曜ロードショー」、夜に放映される映画と言えば、「さよなら、さよなら、さよなら」と黒縁眼鏡を掛けたおじいちゃん（淀川長治氏）を思い出します。当時、映画館は近くになく、映画と言えば、テレビで見る事が大半であった中で、毎週、子供ながら小さいテレビにかじりつきながら、見終えた映画の最後に一言コメントと共に「さよなら、さよなら、さよなら」で締め括る、おじいちゃん。当時、「Back to the Future」、「ホームアローン」、「MASK」等、ドキドキ・ワクワクした後に最後を締めくくるおじいちゃん。何故か、微妙に怖かったのを覚えている。最近、Amazon Prime や Netflix 等でいつでも手軽に映画を見れる一方で、映画館の大画面で見る迫力や緊張感、テレビで見た黒縁眼鏡のおじいちゃん、どちらも味がある。今後も、数々の映画が作られ、名作として後世まで語られる作品が多く作られる事を期待する一方で、黒縁眼鏡のおじいちゃんの「さよなら、さよなら、さよなら」を超える印象に残るナレーターは登場しないのではないかと思います。ちなみに、この黒縁眼鏡のおじいちゃん（淀川長治氏）は多くの映画関係者に影響を与え、「淀川長治ならばこれを選ぶだろう」という基準で、世界的な名作から定番、日本での上映が少ない映画まで、淀川長治氏のコメントと共に「淀川長治映画ベスト1000」、「淀川長治 究極の映画ベスト100」という本が発売されている。

学校給食

小坂 美香（企画営業部）



好きな給食のメニューは?というアンケートで、カレーライスやあげパン、ソフト麺などがランキングに入っていますが、私はドイツロールパンが好きで、学校でも人気のメニューでした。ドイツロールパンとは、生地が黄色がかったいて、しっとりしていてほんのり甘いコッペパンです。一見すると少し大きめながらも普通のロールパンのような見た目、中を割ってみてもクリームなどが入っているわけではありません。ドイツロールパンには通常のパンよりもマーガリンが多めに練り込まれており、それがしっとりとした食感と甘さを引き出しているそうです。1977年から豊明市の学校給食として提供が始まったといいます。そのドイツロールパンが、東海エリア限定で昨年の12月1日から今年の1月31日までの期間限定で販売され、豊明市の広報誌でも取り上げられるほどでした。一般発売されたドイツロールパンは、豊明市のスーパーでは販売直後から完売続出。特設コーナーに並んでいるパンも次から次へとお客さんたちがまとめ買いし、1日で1000本が完売となるほど圧倒的な人気ぶりだったそうです。私も発売当初は完売でなかなか買えませんでした。製造元のフジパンによると、発売開始からの1カ月で発売された12万本のうち、なんと4分の1にあたる3万本を豊明市民が購入するほど爆売れになったそうです。その事はテレビでも取り上げられ、そこで初めてドイツロールパンは豊明市のみの物だという事、豊明市に工場のあるフジパンが豊明市の給食のためだけにドイツロールパンを焼き続けている事を知り驚きました。当初は1月末までの期間限定発売の予定でしたが、あまりの反響の高さに再販が決定しました。3月1日からの期間限定で、中部7県にて再び購入できるようになりました。しばらくの間、この味を味わうことができうれしいです。ちなみに、なぜ「ドイツロールパン」と名前がついたのかは、分かっていないそうです。





我が家では家庭菜園にハマっており、野菜や果物を育てています。庭に植えている物もありますがほとんどはプランターを使用して栽培しています。4月になって暖かくなってきたので夏野菜を育てる準備をしようと先日、種を苗ポット植えました。今年の夏はトマト、きゅうり、かぼちゃ、すいかの4種類にチャレンジしています。今育てているそら豆、にんにく、青ネギ、いちごが5月中旬頃に収穫できる見込みなので収穫が終わったら苗をプランターに移し替えて夏野菜を育てていくという感じです。4歳の息子も積極的に野菜の世話をしたり、毎日野菜の成長を観察したりと楽しみながら家庭菜園をしています。野菜を育てていると気が付いたら芽が出ていたり、花が咲いていたりと見えないところでちゃんと成長しているんだな、と感心します。去年はナスやピーマンを育てていたのですが、あまりちゃんと育たずほとんど収穫できなかったのが今年こそは成功させようと家庭菜園の本を買ってみたい、土や肥料をちょっと考えて作ったりして試行錯誤をしながら育てています。そのおかげか、いま育てている野菜たちは順調に育ってきており、やはり育てるためにはちゃんと自分で勉強して適切な対応をしないといけないと改めて感じました。子育てや仕事にも通ずるものがあるなと感じており、ただ放っておくだけではなく、ちゃんと環境を整えて、育つための土壌づくりをしっかりしていきたいものです。



話題の新作ゲーム

加藤 琢馬（製造部）



皆さんはゲームをしますでしょうか？最近ではスマートフォンなどでも、多くのゲームアプリが出ていますので、脳のトレーニングでゲームをしたり、気分転換などで簡単なゲームをする人もいると思います。お子さんがいる家庭では、家庭用ゲーム機を持っていてお子さんと一緒にゲームを遊んだりする方もいると思います。僕は最近2月末に発売されたモンスターハンターワールドというゲームを購入し遊んでいます。ラジオなどでも取り上げられていたので、名前だけでも聞いたことがある人も多いと思います。このゲームはシリーズ作品として長く、1作品目が2004年に発売されて以来、子供・大人問わず人気の20年も続くゲームになります。僕がこのゲームを初めて買ったのは中学生の頃で、学校から帰ってきては学生服から着替えもせずすぐゲームをし始め、休みの日には朝から友人と集まり時間を忘れるほど遊んだ記憶があります。学生を卒業し社会人になってからは遊んでいなかったのですが、友人から誘われて久しぶりにプレイしました。遊び始めて思ったのは操作性やグラフィックが以前よりも良く、10年も経てばここまで変わるのだなと感動しました。このゲームはハンターと呼ばれるキャラを自分で操作し、14種類ある武器の中から自分で選んだ武器でフィールドに存在するモンスターを倒すことが主なゲーム性になります。モンスターを倒す過程で、フィールドに存在する素材や、倒したモンスターから獲れる素材を使い自身の装備を強化し、新たな強いモンスターを倒していくのがとても楽しく、モンスターをどれだけ早く倒せるかというタイムアタックや、実績を解除することでもらえる勲章というやりこみ要素もあります。僕自身プレイ時間が100時間を超えても遊び続けているので、ゲームが好きな人にはぜひやってもらいたい作品だと思うので興味がでた方はやってみてはいかがでしょうか。

【五月病対策】今日からできる3つのセルフケア

なんとなくやる気が出ない、疲れが抜けない…そんな「五月病」を防ぐには、毎日の小さな習慣がカギ！

1. 朝日を浴びる

起きたらカーテン全開！

太陽の光で“幸せホルモン”セロトニンが分泌されて、気分もすっきり。

2. 1日1回リラックスタイム

お風呂、深呼吸、アロマ、ストレッチ。

なんでもOK。自分の“ゆるむ時間”をつくろう。

3. 夜9時以降はスマホOFF

脳を休めて、睡眠の質をアップ。画面から離れて心もクールダウン。

小さな習慣が、5月の不調をゆるやかに整えてくれます

待ち遠しいこと

清水 由依（特販部）



現在、バンコンタイプ（ハイエースベース）のキャンピングカーに乗って、宮崎帰省や旅行に行っています。かれこれ5年くらい乗っています。しかし、子どもたちが（私も）大きくなってきて寝るスペース問題や座席シートの展開が億劫になりはじめ、いろいろと悩んだ末、おもいきってキャブコンタイプ（トラックベース）のキャンピングカーに乗り換えることを決めました！納車は今年の冬です！常設ベッドはバンクベットと車両後部の2カ所（どちらも広い）、今の車にはない電子レンジ付き。これはきっと今以上に車中泊旅が快適で充実したものになると期待しています。納車が待ち遠しいです。キャンピングカーの魅力は、宿泊の手配や時間を気にせず自由気ままに旅にでかけられること、「宿泊先ありき」ではなく「目的地ありき」の旅行が楽しめることだと思います。



キッチンや冷蔵庫もあるので、長期の旅行の時は自炊をして旅費を抑えられることも魅力のひとつだと思います。電子レンジもあるとなるともう最強、最高です。私は、少し秘密基地感があるところも好きです。これからも家族でキャンピングカーに乗って、行きたいところへ行き、ご当地の美味しい食べ物やお酒を堪能し、思う存分レジャーを楽しんでいきたいと思っています。いつか北海道に行くことが目標です。